

「マイナビ 2024 年卒大学生 活動実態調査(6月)」を発表 配属先に関して「勤務地・職種ともに自分で判断して選びたい」という学生が 54.0%で最多 内々定先企業に配属希望を伝えたことがある学生は 40.9%

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、2024 年卒業予定の全国の大学生、大学院生を対象に実施した、「マイナビ 2024 年卒大学生 活動実態調査（6月）」の結果を発表しました。

《TOPICS》

- ◆ 2024 年卒業予定の大学生・大学院生の内々定率は 79.5%で、前月比 9.3pt 増【図 1、2】
- ◆ 未内々定の学生が現在困っていることは「面接を通過できない」が最多。「最終面接を通過できない」「緊張しすぎてしまって、面接がうまくいかない」などの悩みを持つ学生も【図 3、4】
- ◆ 配属先に関して「勤務地・職種ともに自分で判断して選びたい」という学生が 54.0%で前年に引き続き最多【図 5】
- ◆ 配属先を「入社前」に知りたい学生は前年比 1.7pt 増の 87.7%。企業に配属希望を自ら伝えたことがある内々定者は 40.9%で、「企業側から希望を聞かれた」は 27.3%【図 6、7】

【調査概要】

2024 年卒業予定の大学生・大学院生の 6 月末時点での内々定率は前月比 9.3pt 増の 79.5%、平均内々定保有社数は前月比 0.3 社増の 2.5 社となった。企業の高い採用意欲を背景に、内々定率・平均内々定保有社数ともに引き続き高い割合で推移している。【図 1、2】

未内々定の学生が現在就職活動で困っていることは「面接を通過できない」が前年比 2.3pt 増の 50.9%で最多。困っている内容は、「練習通りに面接選考に臨んでいるが、どうしても最終面接まで進むことができない」や「最終面接まではいくが、そこまでしか行けない。緊張しすぎてしまって、面接がうまくいかない」のように、最終面接関連の悩みが見られた。【図 3、4】

入社後の配属先（勤務地・職種）に対する考えとして「勤務地・職種ともに自分で適性を判断して、選びたい」が 54.0%で前年に引き続き最多となった。その理由として、インターンシップ・仕事体験への高い参加率を背景にキャリア感の醸成が進んだこと、共働き志向の高まりやライフスタイルへの考え方が変化していることなどに伴い、入社後の勤務地や職種を自分で判断して決めたい学生が多いと考えられる。勤務地に注目すると、「勤務地を自分で選びたい」学生は前年比 1.2pt 増の 86.9%

（「勤務地・職種ともに自分で適性を判断して、選びたい」＋「勤務地は自分で選びたいが、職種は適性をみて会社に判断してほしい」の合計）だった。【図 5】

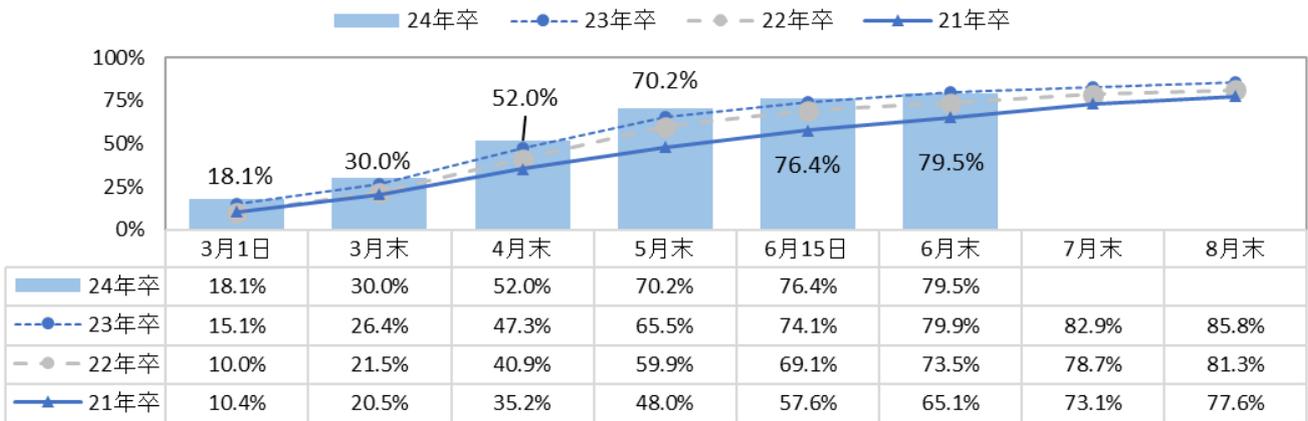
入社後の配属をいつ知りたいかを聞いたところ、入社前（「内定通知前の面談・面接」、「内定通知と同時に」、「内定式」、「内定通知後から入社前まで（内定通知時、内定式は除く）」の合計）は前年比 1.7pt 増の 87.7%だった。内々定先企業に入社後の配属希望を自ら伝えたことがある内々定者は 40.9%で、「企業側から希望を聞かれたので答えた」は 27.3%だった。配属先を自分自身で選択したいと考える学生が多いなか、入社後の配属希望に関して企業と話す機会を得られている学生が一定数いることがわかった。【図 6、7】

【調査担当者コメント】

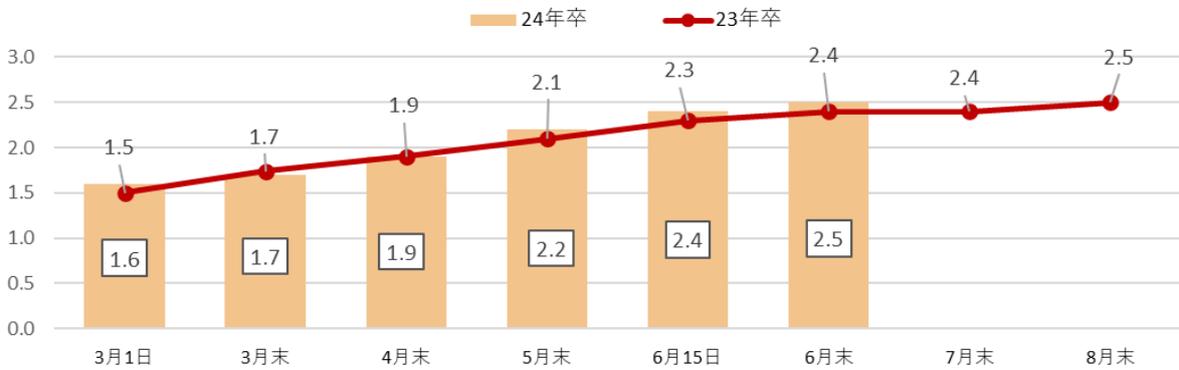
配属先について「勤務地も職種も自分で決めたい」「入社前に知りたい」という学生が前年よりも増加し、今年も多く見られました。また、内々定保有者の中には入社後の配属先について内々定先企業に自ら伝えたり、逆に配属希望を聞かれたという学生が多数いることもわかりました。「配属ガチャ」という言葉にもある通り、入社後の配属が不透明であることは学生にとって不安材料の1つとなります。そうした不安や、配属に関する入社後のミスマッチを解消する上でも、学生・企業間で配属先について話す場を早い段階で設けることは重要で、こうしたコミュニケーションをより積極的に取ってほしいと考えます。

キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川洋介

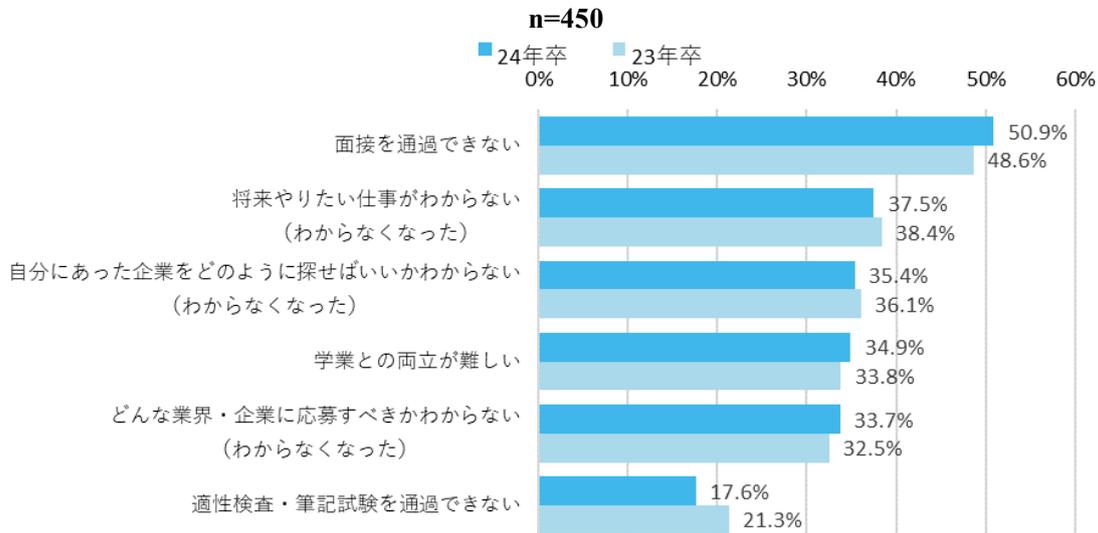
【図1】内々定率 経年比較



【図2】平均内々定保有社数 前年比較



【図3】<未内々定者限定>現在就職活動で困っていること（上位抜粋）

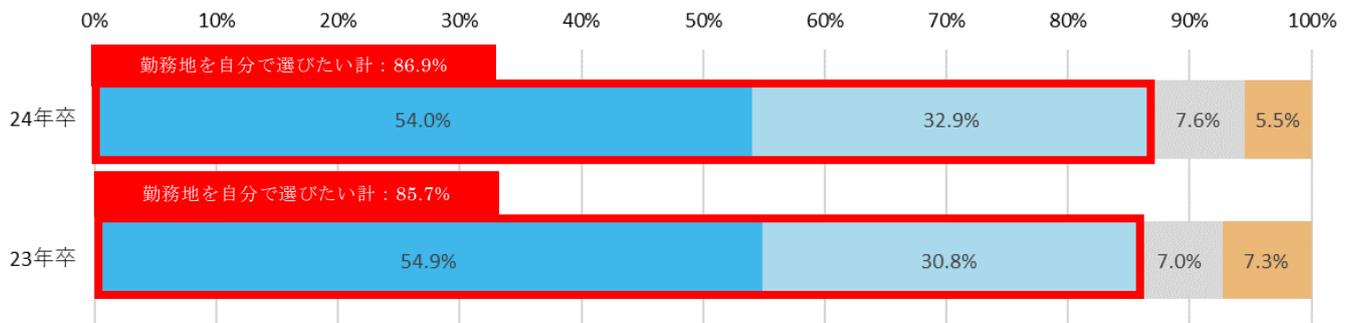


【図4】就職活動で困っていることに関する具体的な内容（自由記述）

困っていること	属性	内容
面接が通過できない	文系女子	練習通りに面接選考に臨んでいるが、どうしても最終面接まで進むことができないこと。
	理系女子	最終面接の通過率が悪いこと。
	文系男子	緊張で口ごもってしまうからなのか面接を一度も通過できず悩んでいます。また、自分なりに手ごたえがあった面接でも通過出来なかったことで精神的に打ちのめされ、就職ができないのではないかと不安を抱えています。
	文系女子	企業研究が上手くできずに面接で業務内容などの質問をされると回答に困ってしまう。
	文系女子	面接で何故落とされるかが分からず改善のしようがない
将来やりたい仕事 がわからない (わからなくなった)	文系女子	自分の軸がわからなくなってしまい自信が持てなくなった
	文系女子	自分が本当にやりたいことが何なのか、少し分からなくなってきたので焦っています。でも、今までの就活を振り返りながら、改めてきちんと自己分析をして志望企業に挑みたいと思います。また、就活サポート室の人にも相談するなど、周りの協力も得ながら進めたいです。
	文系女子	第一志望の業種以外の企業に対して、具体的な志望動機が考えつかず、何を書けばいいのか、何を言えばいいのか分からない。また、公務員志望一筋で6月ごろまでできていたため、今からでは民間企業の選考に間に合わないのではないかと、どこにも就職できないのではないかと不安。

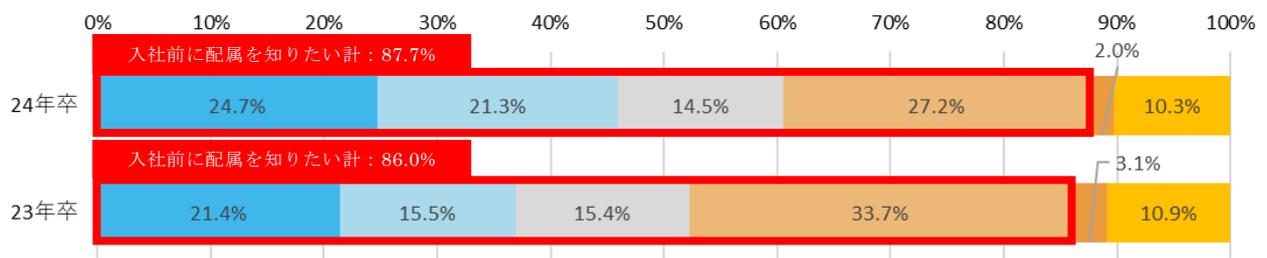
【図5】入社後の配属先（勤務地・職種）に対する考え

- 勤務地・職種ともに自分で適性を判断して、選びたい
- 勤務地は自分で選びたいが、職種は適性をみて会社に判断してほしい
- 職種は自分で選びたいが、勤務地は適性をみて会社に判断してほしい
- 勤務地も職種も、適性を見て会社に判断してほしい



【図6】入社後の配属をどの時点で知りたいか

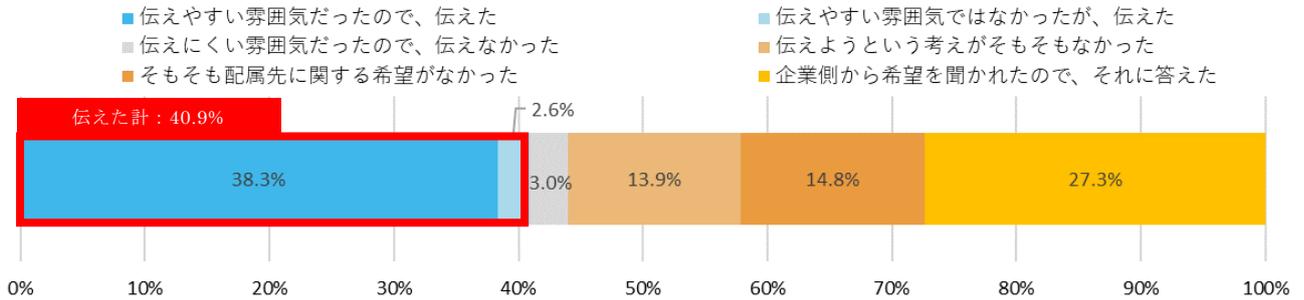
- 内定通知前の面談・面接
- 内定通知と同時
- 内定式
- 内定通知後から入社前まで（内定通知時、内定式は除く）
- 入社式
- 入社後（実際の配属時）



【図 7】 <内々定保有者限定>

内々定を得た企業に対し、入社後の配属先について希望を伝えたことはあるか

n=1,866



【調査概要】「マイナビ 2024 年卒大学生 活動実態調査（6月）」

- 調査期間／2023年6月24日（土）～6月30日（金）
- 調査方法／マイナビ2024の会員に対するWEBアンケート
- 調査対象／2024年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生
- 調査機関／自社調べ
- 有効回答数／2,472名（文系男子517名 文系女子1,062名 理系男子423名 理系女子470名）
- ※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
キャリアリサーチラボ 研究員 長谷川
Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】

株式会社マイナビ
社長室 広報部 石井
Email : koho@mynavi.jp